

秋の浅間隠山ハイキング

10月12日（金） 12名参加

10月の月例山行は、秋の平日に浅間隠山で静かな、のんびりしたハイキングを楽しみました。新版日本三百名山によれば「高崎の市街地から西に、ひときわ目立つピラミッド型の山が浅間隠山だ。北側の東吾妻・中之条町側から見ると、浅間山を隠してしまうところから名づけられ、富士山に似た山容から、旧倉渕村川浦からの川浦富士あるいは山頂部が2峰に分かれているため矢筈山といった別名もある。角落山塊の最高峰である」

高崎から国道406号線を進み旧倉渕村を辿る。日本の原風景とも言うべき田畑と山に囲まれたのどかな道筋である。倉渕村は幕末の江戸幕府勘定奉行を務めた偉人小栗上野介の終焉の地であるが、上野介が横須賀に鉄工所を開いたことから友好都市の縁があり、横須賀市の宿泊施設「はまゆう荘」がある。

登山口は二度上峠の手前である。かの木枯し紋次郎も超えたであろうという風情の峠道である。登山道を1時間半も辿ると景色の良い山頂に到達する。春ならつつじでも愛でながらとなるが、今は紅葉にも早く、全く静かである。おしゃべりしながら山頂に着けば、目の前に雄大な浅間山が聳えるが、残念ながら上部は雲の中であった。眼下には北軽井沢の放牧地が美しい広がりを見せている。

帰路にはお約束の温泉入浴である。山の中の鄙びた倉渕温泉で貸切状態でゆっくり温まった。家族経営で頑張っている雰囲気の良い温泉宿で応援したくなる。更にすぐそばの群馬の銘酒「大盃」を入手して気分よく帰路についた。



(山行委員会)